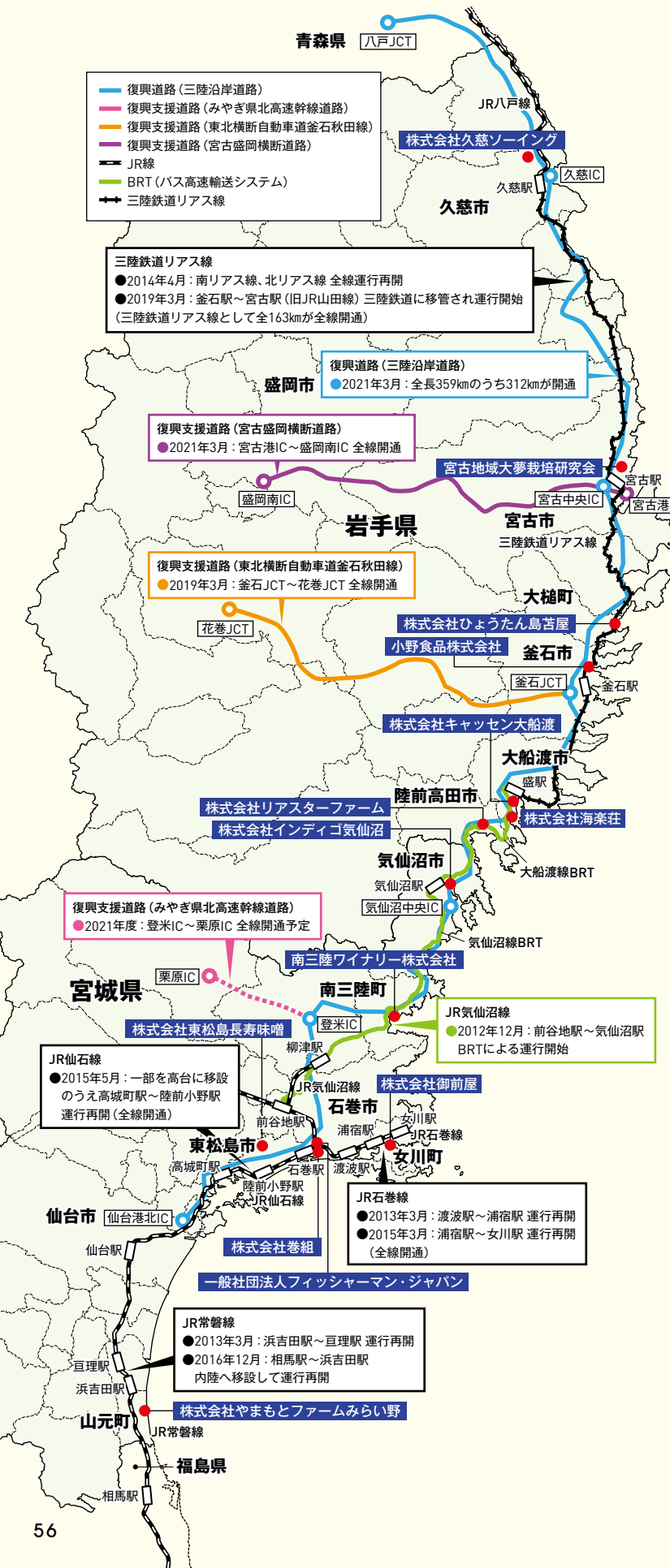


宮城県・岩手県沿岸部の現況

【住まいと街の復興】

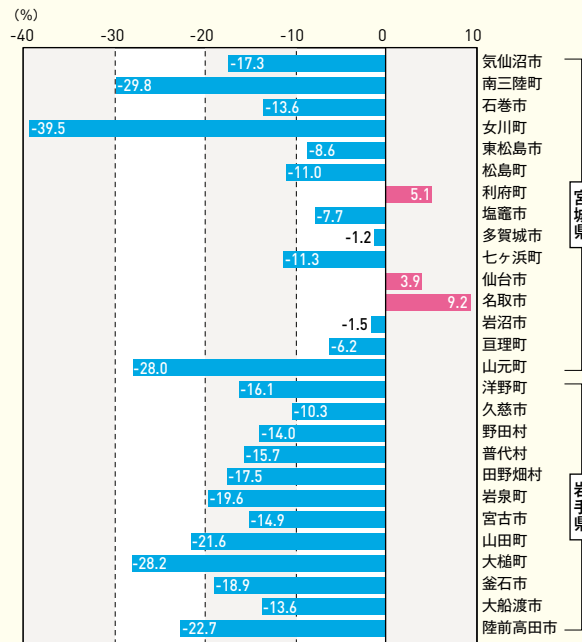


沿岸部の人口増減

被災地の沿岸部では、人口が減少傾向にある市町村が多くなっている

東日本大震災以降の被災地、特に沿岸部では人口が減少傾向にある市町村が多い。2020年と2010年を比較すると、宮城県では女川町、南三陸町、山元町、岩手県では大槌町、陸前高田市などの減少率が高い。一方、仙台市と近郊の名取市、利府町では人口が増加傾向にある。

●宮城県・岩手県沿岸部の人口増減率（2020年／2010年）



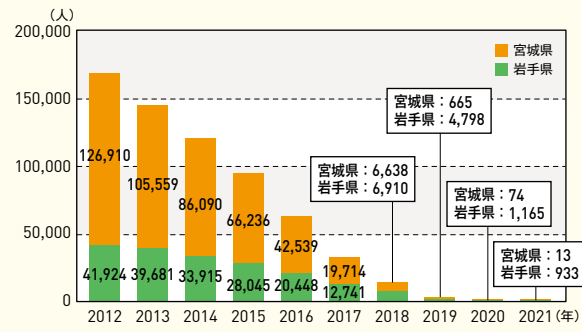
出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」、日本人住民

応急仮設住宅の入居者数

応急仮設住宅の入居者数は
2021年現在で約0.1万人に減少している

応急仮設住宅の入居者数は、東日本大震災から間もない2012年には宮城県・岩手県を合わせて約16.9万人だったが、住まいの再建が進むとともに減少。2021年には約0.1万人となっている。なお、宮城県・岩手県は2020年度に建設型応急住宅の供与を終了している。

●応急仮設住宅入居者数の推移



出典：緊急災害対策本部「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）について」

交通・物流網の整備

交通・物流網のインフラ整備は概ね完了

復興道路・復興支援道路は、延長約570kmのうち約541km（約95%）が開通済み。一部未開通区間については、2021年度内に完成予定。鉄道は2020年3月14日、JR常磐線的全線が開通。東日本大震災で被災した鉄道は全線開通を果たした（BRTによる復旧を含む）。

地震とともに津波による甚大な被害が発生した
宮城県・岩手県沿岸部。10年後の復興状況を概観する。

【産業・生業の復興】

農林業 津波被災農地の復旧と大区画化が進む

津波によって被災した農地の営農再開に向けて、農地復旧や除塩などを推進。農地復旧と一体的に農地の大区画化や利用集積を進めるなど、全国のモデルとなるような取り組みを実施している。宮城県、岩手県では復興交付金などを活用し、経営規模の拡大や農地の大区画化に取り組んでいる。

●農地の大区画化の県別面積（ha）

県名	大区画化に取り組む地区の計画面積（注1）	整備完了面積（全体）	左記のうち大区画化を行った面積（注2）
宮城県	6,490	6,490	5,680
岩手県	50	50	10

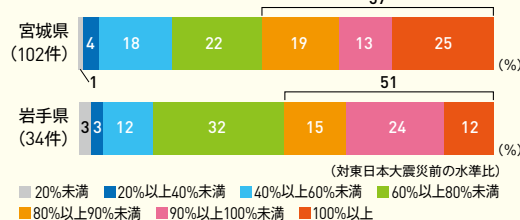
注1：津波被災農地と一体的に整備する農地を含む。（2021年3月末時点）
注2：大区画化とは、農地を0.5ha以上の区画に整備するもの。



漁業・水産加工業 漁港の機能は回復、水産加工業の売り上げは回復途上

被災した漁港のすべてで陸揚げ機能が回復。宮城県・岩手県の水産加工施設の大半では、業務が再開されている。一方、水産加工業の売り上げは回復途上。売り上げが東日本大震災前の水準以上まで回復した割合は宮城県25%、岩手県12%。8割以上回復した割合は宮城県57%、岩手県51%である。

●水産加工業の売り上げの回復状況



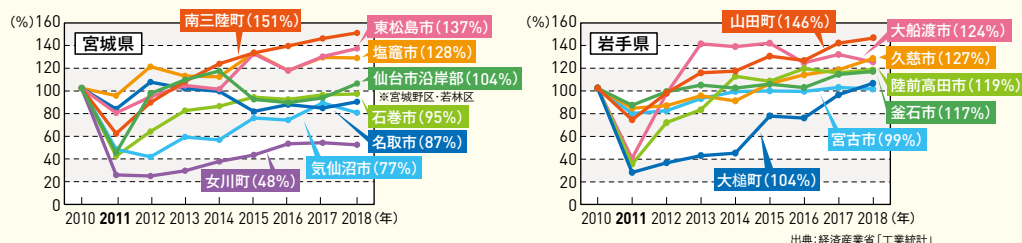
資料：2021年4月 水産庁「水産加工業者における東日本大震災からの復興状況アンケート（第8回）」



製造業 いまだ製品出荷額が被災前の水準に満たない自治体も

主な自治体の製品出荷額の推移を見ると、内陸部では東日本大震災以前の水準までほぼ回復しているが、沿岸部では回復途上の自治体もある。宮城県では自治体によって状況が異なり、被災前の水準に満たない自治体もいくつかある。岩手県では、概ね東日本大震災前の水準まで回復している。

●沿岸部の主要自治体別の製造品出荷額等（2010年比）

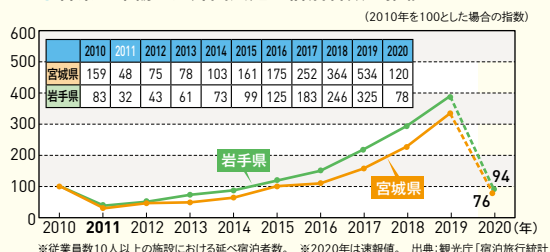


出典：経済産業省「工業統計」

観光業 津波被災地などの復興ツーリズムに期待

宮城県・岩手県の外国人観光客数は、2019年まで回復しつつあったが、2020年は新型コロナウイルス感染症による影響で激減した。コロナ禍以前には、復興ツーリズムへの関心の高まりから津波被災地を訪れる外国人が増加。コロナ収束後には「東日本大震災津波伝承館」などの訪問客が再び増えるのではないかと考えられる。

●各県へ来訪した外国人延べ宿泊者数の推移



※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。 ※2020年は速報値。 出典：観光庁「宿泊旅行統計」



商業 続々と商業施設が開業し、にぎわいを創出

被災各地で新しい商業施設が続々と開業。仮設ではない本設の商業施設によって、地域ににぎわいが創出されている。その背景には、復興庁による「まちなか再生計画」の認定がある。コンパクトで暮らしやすく働きやすい中心市街地の整備計画などを自治体が定めた「まちなか再生計画」の認定により、商業施設の整備について支援が受けられる。

●商業施設の開業

宮城県

- ・2015年12月★女川町「シー・バルビア女川」
- ・2016年12月★女川町「ハマテラス」
- ・2016年12月★石巻市「石巻テラス」
- ・2017年 3月★南三陸町「南三陸さんさん商店街」
- ・2017年 4月★南三陸町「南三陸ハマレ歌津」
- ・2017年 6月★石巻市「いしのまき元気いちば」
- ・2019年 4月★名取市「かわまちてらす開上」
- ・2019年10月より順次★気仙沼市「スローストリート」

岩手県

- ・2016年11月★山田町「オール」
- ・2017年 4月★大船渡市「キャッセン大船渡」
- ・2017年 4月★陸前高田市「アパッセたかた」
- ・2019年 9月★釜石市「うのポート」
- ・2020年12月★陸前高田市「発酵パーク CAMOCY」